

# ウールマーク品質基準

## 品質基準 IF-1: 2016

### 室内装飾用布帛

#### 製品

以下を用途とする平織り、パイル織り、圧縮フェルトの室内装飾用布帛には、ウールマーク、ウールマークブレンド、またはウールブレンドのラベルが適用される。

- 一般的な住宅での使用（居間の家具など）を目的としたほとんどのスタイルの家具に適した住宅用家具
- 一般的な業務用途（ホテル寝室やオフィスなど）を目的としたほとんどのスタイルの家具に適した業務用家具
- オフィスの仕切り
- 壁カバー
- カーテン
- 装飾品：装飾品（ランプシェード、工芸品、表面カバーなど）に適した圧縮およびフェルト羊毛織物
- 公共交通機関および自動車用の椅子張り材料。「製品に関する注記」も参照する。
- 過酷な使用環境における業務用家具の椅子張り材料（「推奨品質基準」も参照）

## 製品に関する注記

### 1. 交通機関

多くの公共交通機関および自動車製造業者は、椅子張り材料に独自の仕様を設けている。  
「過酷な使用環境－業務用家具」区分で説明する要件は、以上限のものを見なすべきである。

### 2. 過酷な使用環境－業務用家具

正確な用途を決定しなければならない。指針として「推奨品質基準」を参照する。  
映画館や劇場、公共交通機関や自動車など、過酷な使用環境における業務用家具の織物は、多くの場合、シートや車両の製造者、または仕様書作成者と設計技師が設定した仕様に合格する必要がある。過酷な使用環境における業務用家具に対して挙げられている推奨品質基準は、ウールマーク、ウールマークブレンド、またはウールブレンドの承認を受けるために試験を提出する前に達成されるべき推奨以上レベルである。

### 3. 耐摩強さ

多くの場合、特に摩耗強さの場合、自動車製造者によって他の試験方法が指定されている。  
摩耗試験では、織物製品の摩耗寿命および/または長期外観性能を一貫して予測することはできないが、マーチンデール試験装置で得られた結果は、そのような性能の有効な指標となることが実証されている。

### 7. 可燃性

全世界で適用されている可燃性試験の方法と仕様はさまざまであるため、本品質基準には可燃性要件は含まれていない。可燃性の仕様は、さまざまな住宅用および業務用製品に適用される。ウールマークおよびウールマークブレンド製品の試験方法、品質基準、性能に関する助言は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手することができる。

### 8. 取扱表示に関する情報

ウールマーク、ウールマークブレンド、ウールブレンド製品の通常の洗濯、およびしみや汚れの除去に関する情報は、ザ・ウールマーク・カンパニーから入手することができる。

### 9. 手洗いまたは洗濯機洗い製品

一般に、この製品区分では、取扱表示は「ドライクリーニングのみ」となる。ただし、ライセンサーが「手洗い」または「マシンウォッシュャブル」の取扱表示を使うことを希望する製品は、ザ・ウールマーク・カンパニーに提出して審査を受けなければならない。  
マシンウォッシュャブル製品をタンブル乾燥できない場合は、（必要に応じて語句または記号によって）ラベルに「タンブル乾燥禁止」の取扱表示を記載しなければならない。

## 基本品質基準

特性	試験方法	合格基準			
必要に応じて、生地またはパイルの繊維混用率 (以上)	155	ウールマーク：新毛 100% ウールマークブレンド：新毛 50% ウールブレンド：新毛 30%			
		椅子張り材料 生地		カーテン	壁カバー オフィスの仕切り
		平織	パイル		圧縮フェルト
引張強さ (kg：以上)	4	35	35	-	-
総羊毛重量 (gm <sup>2</sup> ：以上)	13	-	-	-	250
生地密度 (x10 <sup>3</sup> gm <sup>3</sup> ：以上)	13	-	-	-	80
非回復伸び率 (%：以下) 圧縮フェルト織物のみ	248	-	-	-	8
摩耗強さ (摩擦 1,000 回：以上) 椅子張り地のみ	112	20	20	-	-
表面パイル質量 (gm <sup>2</sup> ：以上) 摩擦 20,000 回未満の場合のパイル生地	277	-	100	-	-
表面パイル密度 (以上 10 <sup>3</sup> gm <sup>3</sup> ) 摩擦 2,000 回未満の場合のパイル生地	285	-	50	-	-
総面積に占めるパイルの割合 (%：以上)	289	-	60	-	-
シャンプー堅牢度 (級：以上) 単色を除く	233	3-4	-	-	3-4
耐光堅牢度 (級：以上)	5	濃色：5 淡色：4			
水堅牢度 変色 (級：以上) 羊毛汚染 (級：以上) 綿汚染 (級：以上)	6	-	-	3-4 3 3	3-4 3 3
混用製品のみ 他繊維汚染 (級：以上)		-	-	3	3
摩擦堅牢度：湿・乾 (級：以上)	165	3-4			
油脂分 (%：以下)	136	1.0			
防虫性 (オーストラリア、ニュージーランド、南 アフリカのみ)	27 28	品質基準 CP-4 を参照			

### 注

#### 1. ウールマーク TM155：羊毛混用率

- ウールマーク 詳細については、必要に応じて品質基準 F-1、F-2、F-3、または F-4 を参照。
- ウールマークブレンド 品質基準 F-5 を参照。
- ウールブレンド 品質基準 F-7 を参照。

**2. ウールマーク TM4 : 引張強さ**

椅子張り地にのみ適用される。経糸方向および緯糸方向とも以上値に適合しなければならない。

**3. ウールマーク TM13 : 単位面積当たり質量**

羊毛質量は、単位面積当たり質量および製品の羊毛混用率から計算する。

$$\text{羊毛質量 (g/m}^2\text{)} = \frac{\text{質量 (g/m}^2\text{)} \times \text{羊毛混用率 (\%)}}{100}$$

圧縮またはパイル生地では、密度は生地の質量および厚さから計算する。

$$\text{密度 (g/m}^3 \times 10^3\text{)} = \frac{\text{質量 (g/m}^2\text{)}}{\text{厚さ (mm)}}$$

**4. ウールマーク TM248 : 非回復伸び率**

この試験は、圧縮フェルト織物にのみ適用される。

フェルト羊毛層の性能は、織物の構造、フェルトまたは仕上げに密接に関係する。問題のある織物は、以下の要素の1つ以上を含むことがある：(a) 不十分な結合、(b) 表面の毛羽立ち。

これらのパラメータの全般的な影響は、製品耐久性が低下し、非回復伸び率の値が高くなることである。10kgの負荷に達する前に試験試料に障害が生じた場合、その試料は不合格と見なさなければならない。

**5. ウールマーク TM112 : 摩耗強さ**

この試験は、椅子張り地にのみ適用される。パイル生地の摩耗強さが摩擦 20,000 回未満である場合、生地は TM277 および TM285 の要件を満たさなければならない。

**6. ウールマーク TM277 : 表面パイル質量**

摩耗強さが摩擦 20,000 回未満のパイル生地を承認する際に、TM285 と共にこの条件を適用できる。表面パイル質量および表面パイル密度は、パイル部分のみで計算しなければならない。すべてのサンプルは、必ずザ・ウールマーク・カンパニーに提出して承認を受けなければならない。

**7. ウールマーク TM285 : 表面パイル密度**

この条件は、摩耗強さが摩擦 20,000 回未満のパイル生地を承認する際に使用される。表面パイル質量および表面パイル密度は、パイル部分のみで計算しなければならない。すべてのサンプルは、必ずザ・ウールマーク・カンパニーに提出して承認を受けなければならない。

**8. ウールマーク TM289 : 総面積に占めるパイルの面積**

パイル部分とパイル以外の部分を持つ椅子張り地では、パイルが生地の総面積の 60%以上を占めていなければならない。すべてのサンプルは、必ずザ・ウールマーク・カンパニーに提出して承認を受けなければならない。

**9. ウールマーク TM233 : シャンプー染色堅牢度**

この試験は、単色を除く製品に適用される。

**10. ウールマーク TM5 : 耐光堅牢度**

コメントなし。

**11. ウールマーク TM6 : 水堅牢度**

コメントなし。

**12. ウールマーク TM165 : 摩擦堅牢度**

コメントなし。

**13. ウールマーク TM136 : 抽出分**

フッ化炭素仕上げが織物に施されている場合、一部の化学薬品が DCM によって溶出され、高水準の抽出分が測定されることがある。ウールマーク TWC-TM258 を実施し、フッ化炭素が使用されている場合は、以上でも級 4（油）および 3（水）を達成する必要がある。

**14. ウールマーク TM27：防虫性**

防虫処理に関する助言については、品質基準 CP-4 を参照する。

## 推奨品質基準

以下の表に記載された試験方法を使用して、すべての試料を試験しなければならない。ただし、試験対象の特性には、合格または不合格の条件はない。ライセンサーは、適切な方法に応じてすべての試料を試験し、結果を顧客に報告する。製品がガイドライン性能水準に達しなかった場合は、ライセンサーへの報告書で強調表示しなければならない。要請があった場合、ザ・ウールマーク・カンパニーは、コンサルティングに関する通常の商業的取り決めの下で、契約製品の性能を向上させるための助言と支援をライセンサーに提供する。

特定の生地を承認または拒否する決定は、生地の製造者と顧客との合意に基づく。ザ・ウールマーク・カンパニーは、そのような問題を巡って両者の仲裁を行うことはない。

## 過酷な使用環境

映画館や劇場、公共交通機関や自動車など、過酷な使用環境における業務用家具の織物は、多くの場合、シートや車両の製造者、またはインテリアデザイナー（スタイリスト）や仕様作成者、建築家が設定した仕様に合格する必要がある。以下の推奨品質基準は、ウールマーク、ウールマークブレンド、またはウールブレンドの承認を受けるために試料を提出する前に達成されるべき推奨以上レベルである。ただし、すべての色相や深みが級6の耐光性の推奨以上基準を満たすとは限らないため、仕様作成者または建築家は色の組み合わせに注意しなければならない。

特性	試験方法	ガイドライン性能レベル				
		椅子張り地 平織およびパイル織			カーテン	壁 カバー オフィスの仕切り
		住宅用	業務用	過酷な使用 環境 業務用		
引張強力 (N : 以上) 目付け > 135 gm <sup>2</sup> 目付け < 135 gm <sup>2</sup>	4	-	-	-	98 49	98 -
摩耗強さ (摩擦 1,000 回 : 以上)	112	-	30	40	-	-
表面パイル質量 (gm <sup>2</sup> : 以上) パイル生地のみ	277	-	-	150	-	-
表面パイル密度 (× 10 <sup>3</sup> gm <sup>3</sup> : 以上) パイル生地のみ	285	-	-	75	-	-
縫目滑脱 (mm : 最大)	117	6			-	-
耐光堅牢度 (級 : 以上)	5	-	-	6	6	-
ピリング (級 : 以上) 平織のみ	196	3-4			-	-

## 注

### 1. ウールマーク TM277 および TM285 : 表面パイル質量および密度

パイル部分およびパイル以外の部分を持つ生地では、パイルが生地の総面積の 60%以上を占めていなければならない。表面パイル質量および表面パイル密度は、パイル部分のみで計算しなければならない。すべてのサンプルは、必ずザ・ウールマーク・カンパニーに提出して承認を受けなければならない。

### 2. ウールマーク TM117 : 縫い目の滑脱抵抗

縫い目の滑脱抵抗に関する要件は多くの国の規格に規定されているが、ザ・ウールマーク・カンパニーが長年にわたって収集してきたデータから、試験結果が 6mm を超える生地でも使用上十分な性能を実現できることが明らかになっている（たとえば、家具設計が布貼り時にも使用時にもほとんど縫い目に負担はかからない）。ただし、生地に余分な負担をかける可能性のある一部の家具での問題発生を避けるため、縫い目の開き（裂け）は最大 6mm までとすること。

### 3. ウールマーク TWC-TM196 : ピリング

この推奨レベルは、平織りにのみ適用される。

ピリングは一般に、羊毛 100% 生地の大部分では問題とならない。ただし、わずかな比率の合成繊維を使用することで、問題が生じる場合がある。セミ梳毛紡績羊毛糸も、使用中に毛玉ができる傾向を示した。ブレンドおよび/またはセミ梳毛紡績糸を含む生地構造を評価することを推奨する。

## 追加取扱表示：オーストラリアンメリノ

### 製品

オーストラリアンメリノは、本品質基準に記載された条件を満たすすべてのウールマークラベルの付いた製品に適用される。

家具、寝具、カーペット、ラグ用のオーストラリアンメリノ・プログラムに含まれるすべての製品要求事項は、ザ・ウールマーク・カンパニーに提出して審査を受けなければならない。

### オーストラリアンメリノの追加条件

特性	試験方法	要件
羊毛混用率	155	新毛 100%
平均繊維直径 ( $\mu\text{m}$ : 以下)	22 または 23 または 24	22.5
オーストラリアンウールの割合	確認のため、ライセンスからウール輸入業者または販売業者による証明書を提出のこと。	50% : 以上

### 注

1. 羊毛は Pure Merino 羊から刈り取ることとし、確認書面を提出しなければならない。